

巻頭言にかえて

総合情報基盤センター長 中野裕司

平成 21 年度は、かねてから懸案であった全学 10G ネットワークの更新を行うことができ、快適なネットワーク環境と今後の学内 LAN の安定運用に寄与することができました。またイベントとして、第 21 回情報処理センター等担当者技術研究会をはじめ、第 3 回 Ja Sakai カンファレンス、熊本大学 e ラーニング連続セミナー等を無事開催することができました。また、熊本大学としての中期計画終了の年として、この 6 年間の情報化の総括と今後 6 年間の新しい計画の準備の年でもありました。熊本大学総合情報環構想の更新のための各種調査、またその一環として、IP 電話システムの試験導入、センターホームページの多言語対応等に取り組んで参りました。本広報で平成 21 年度のセンターの活動を概観いただき、本学の教育・研究・地域貢献を情報基盤の面からの支援活動をさらに充実するために、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。